

| | | | | | | |
|-------|-----|--------------|-----|------|-------|------|
| 施策No. | 政策名 | 快適な暮らしのまちづくり | 主管課 | 下水道課 | 主管課長名 | 潮田雄一 |
| 5-5 | 施策名 | 下水道の整備 | 関係課 | なし | | |

1. 施策の目的と成果把握

| 目的 | 施策の対象 | 対象指標名 | 単位 | 区分 | 29年度 | 30年度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | | |
|----------------|---|----------------------------|-----------|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 市民 | ①桜川市人口 | 見込値 | 人 | | 41,278 | 41,008 | 40,738 | 40,467 | 40,197 | |
| 実績値 | | | | | | 41,278 | 40,483 | 39,692 | 38,905 | | |
| ②桜川市世帯数 | | | 見込値 | 世帯 | | 13,700 | 13,684 | 13,668 | 13,652 | 13,636 | |
| | | | | | | 実績値 | 13,700 | 13,660 | 13,695 | 13,717 | |
| 目 | | ③生活排水処理普及率 | 見込値 | | | | | | | | |
| | | | | | | 実績値 | | | | | |
| | | | ④公共下水道普及率 | 見込値 | | | 15.70 | 15.80 | 15.90 | 16.00 | 16.10 |
| | | | | | | | 実績値 | 15.8 | 16.0 | 16.2 | 16.1 |
| | | ⑤桜川の水質(BOD)(市内の最下流「地蔵橋」地点) | 見込値 | mg/L | | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | |
| | | | | | | 実績値 | 2.3 | 1.4 | 1.2 | 1.1 | |
| | ⑥公共下水道接続率 農業集落排水接続率 | | 見込値 | | | 54.0 | 56.0 | 58.5 | 60.0 | 61.5 | |
| | | | | | | 実績値 | 53.47 | 56.67 | 58.59 | 60.08 | 84.0 |
| | ⑦公共下水道使用料収納率 農業集落排水使用料収納率 | 見込値 | | | 98.80 | 98.80 | 98.80 | 98.80 | 98.80 | | |
| | | | | | 実績値 | 97.65 | 97.65 | 97.65 | 97.65 | 97.65 | |
| | | | | | 98.78 | 98.75 | 96.52 | 99.47 | 99.47 | | |
| | | | | | 実績値 | 97.56 | 97.86 | 97.61 | 99.02 | | |
| 成果指標設定の考え方 | ○「快適で衛生的な生活環境で暮らしている」の指標については①生活排水処理普及率の指標が上がれば成果が上がると考えられる。 ○「公共水域の水質汚濁防止」について、桜川市内の最下流「地蔵橋」地点の水質(BOD)で見る。(基準値2.0mg/L) | | | | | | | | | | |
| 成果指標の把握方法と算定式等 | ○対象の人口、世帯は、毎年10月1日の常住人口。 ○①生活排水処理普及率、②公共下水道普及率、④公共下水道接続率・農業集落排水接続率は、生活排水ベストプランより求める。⑤公共下水道使用料収納率・農業集落排水使用料収納率は、過去の実績より求める。 | | | | | | | | | | |

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

| | | | |
|-------|--|---|--|
| 実績比較 | <input checked="" type="checkbox"/> 成果がかなり向上した | <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した | <input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態) |
| | <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した | <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した | |
| 背景・要因 | <p>生活排水処理普及率は、令和2年度で69.7%、令和元年度で69.8%でほぼ横ばい状態であった。 公共下水道を対象とする下水道普及率は令和2年度末で16.1%、令和元年度末は16.2%でありほぼ横ばい状態であった。 桜川の水質については、令和2年度は1.1mg/L、令和元年度は1.2mg/Lであり、ほぼ横ばい状態であった。 公共下水道接続率は、令和2年度60.08%、令和元年度58.59%と1.49ポイント増加した。農業集落排水接続率は、令和2年度83.90%、令和元年度83.58%で0.32ポイント増加した。これらの要因として、公下、農集とも、平成30年度より接続工事費補助金を導入したことによると思われる。 公共下水道使用料収納率は、令和2年度99.47%、令和元年度96.52%であり2.95ポイント向上した。農業集落排水使用料収納率は、令和2年度99.02%、令和元年度97.61%であり1.41ポイント向上した。 まとめとして、接続率が向上し、収納率も向上した。 接続率については、工事費補助金の導入から2年目であり、向上している。 収納率については、接続率の向上と徴収業務委託が主な要因と考えられる。</p> | | |

2) 成果目標の達成状況

| | | | |
|-------|---|---|--|
| 実績比較 | <input checked="" type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った | <input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った | <input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった |
| | <input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った | <input type="checkbox"/> 目標値のすべてを下回った | |
| 背景・要因 | <p>生活排水処理普及率は、令和2年度目標値が69.6%に対し、69.7%であり、0.1ポイント上回った。 公共下水道普及率は、令和2年度目標値が16.0%に対し、16.1%であり、0.1ポイント上回った。 桜川の水質(BOD)は令和2年度目標値が1.1mg/Lに対し、1.1mg/Lであり、達成した。 公共下水道接続率は、令和2年度目標値が60.0%に対し、60.08%と0.08ポイント上回った。 農業集落排水接続率は、令和2年度目標値が83.5%に対し、83.90%であり0.4ポイント上回った。 公共下水道使用料収納率は、令和2年度目標値が98.80%に対し、99.47%と0.67ポイント上回った。 農業集落排水使用料収納率は、令和2年度目標値が97.65%に対し99.02%であり、1.37ポイント上回った。 まとめとして、普及率、接続率、収納率が目標値より向上した。</p> | | |

3. 施策の成果実績に対しての総括と今後の課題・方針

| 施策の成果実績に対しての総括 | 今後の課題・方針 |
|--|--|
| <p>施策の目指す姿の実現に向けた取り組みの中で以下の事業が大きく貢献したと考える。 公共下水道整備事業は、岩瀬地区1.61haの整備を行い、6件の一般住宅及び店舗の公共下水道への接続が可能となった。 また、下水道受益者負担金・使用料徴収事業も、収納率が向上している。</p> | <p>下水道事業の効率的で健全な事業運営に努め、以下の取り組みを重点的に行う。 下水道事業の普及啓発に努め、公共下水道接続工事補助金の拡充により、接続率の拡充を図る。 また、農業集落排水接続率向上のため、接続工事補助金は平成30年から令和3年までであることから、残り1年間で普及啓発に努める。</p> |